

# 24.4%が精密検査対象

## OCHIS S A S 検査の調査概要発表

ヘルスケアネット  
ワーク(OCHIS)

検査を受診したトラッ  
ク、バスなどの運輸関  
係者数は7493人

不明8人となる。

70歳代3人、80歳  
代1人と高年齢ほど高  
い傾向にあるが、実施  
人数の最も多かった40  
歳代が最多となってい  
る。また、肥満がSA  
S症状の割合を増加さ  
せる一つの原因と言わ  
れているが、BMI値  
(体格指数)が高くな  
るほど、D判定者、D  
+判定者の割合も増加  
している。

度の睡眠時無呼吸症候  
群(SAS)検査の実  
績調査概要のまとめを  
発表した。作本貞子副  
理事長は「SASは気  
づかないうちに一瞬で  
眠ってしまい、一定時  
間深い睡眠に陥る症状  
などが現れる。事故故  
につながる危険性が高  
い運輸業に従事する人  
には検査が必須」と呼  
びかけている。

シメータによるSAS  
検査を必要とするD判定が  
1514人で全体の  
20.2%、うち重症者  
312人と全体の4.  
2%。前者と後者と全  
体の24.4%(平成23  
年度は29.3%)と約  
4人に1人が精密検査  
の対象となり、高い割  
合を占める。

D判定者(D+判定  
者含む)を年代別で見  
ると、30歳未満45人、  
30歳代321人、40歳  
代750人、50歳代5  
37人、60歳代167

人、70歳代3人、80歳  
代1人と高年齢ほど高  
い傾向にあるが、実施  
人数の最も多かった40  
歳代が最多となってい  
る。また、肥満がSA  
S症状の割合を増加さ  
せる一つの原因と言わ  
れているが、BMI値  
(体格指数)が高くな  
るほど、D判定者、D  
+判定者の割合も増加  
している。

24年度のパルスオキ

年代別実施者数は、  
40歳代が3012人  
と最も多く、次いで  
30歳代1927人、  
50歳代1530人、  
30歳未満567人、  
60歳代444人、70



作本副理事長

60歳代444人、70